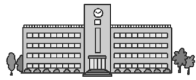


スクール便り



環境緑地科における環境づくり教育

— 神奈川県立相原高等学校 環境緑地科 —

1. 学校紹介

本校は、大正 11 年 10 月 24 日、神奈川県立農蚕学校として文部大臣より認可され、大正 12 年 4 月 16 日、農業科、蚕業科の 2 科と、専修科併設で、旧称相原村、横浜鉄道（現 JR 東日本横浜線）橋本駅前に開校した。その後、さまざまな変遷を経て、昭和 40 年、“造園科”と商業科を設置。平成 2 年、学科改編により畜産科学科、食品科学科、“環境土木科”を設置。平成 25 年、環境土木科が“環境緑地科”に学科改編。現在、環境緑地科 1 クラス、畜産科学科 1 クラス、食品科学科 1 クラス、総合ビジネス科 3 クラスとなり「県内唯一の農業科、商業科併設の専門高校」として各学科とも活躍している。全校生徒の 70% が女子生徒であり、最も男子が多い環境緑地科でも男子生徒の比率は 50% そこそこである。

開校から 93 年の間に相模原市の人口は 70 万人に増加し、平成 22 年に政令指定都市へ移行、学校前の橋本駅の日平均乗降客数は 9 万人となっている。現在、リニア中央新幹線の間停車駅が本校敷地の地下に建設される予定となっており、校舎移転の交渉・準備が始まったところである。



写真-1 神奈川県立相原高等学校全景

2. 環境緑地科の学科目標

自然とバランスを考えた環境づくりを総合的に学習し、緑化の技術を体験的に学ぶとともに、都市公園・自然公園・庭園などのデザイン施工を通して新しい環境づくりについて考え、環境に対する意識を高め、地域社会に貢献できる創造力豊かな技術者として必要な能力と態度を育てることを環境緑地科は学科目標としている。

3. 環境緑地科の教育課程（専門科目）

1 年次：〔必修科目のみ〕

農業と環境（2）、総合実習（2）、
造園計画（2）、造園技術（1）、
環境緑化材料（1）、測量（2）

2 年次：〔必修科目〕

総合実習（2）、造園計画（2）、
造園技術（1）、環境緑化材料（1）、測量（2）
〔必修選択科目〕

農業土木施工（2）または草花（2）

3 年次：〔必修科目〕

課題研究（3）、農業情報処理（2）、
造園計画（2）、環境緑化材料（1）、
造園技術（2）、緑地環境論（2）

〔必修選択科目〕

農業土木設計（2）または園芸（2）

〔自由選択科目〕

グリーンライフ（2）

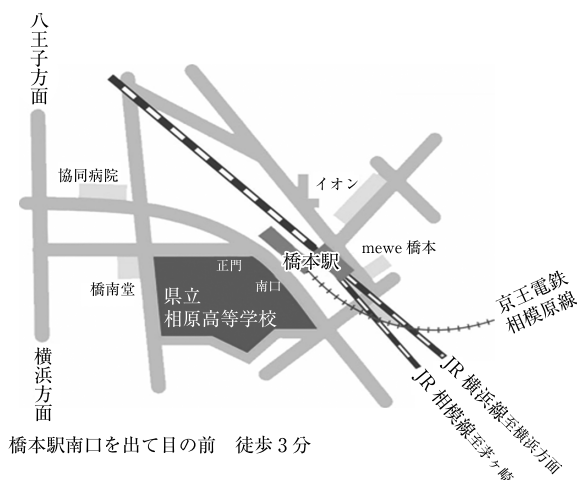


図-1 橋本駅南口図



写真-2 造園実習



写真-3 土地家屋調査士による出前授業



4. 環境土木科の進路状況（過去3年）

〔就職〕

- ・平成24年度
土木建設・測量業4名、造園業3名、製造業7名、
販売・サービス業3名
- ・平成25年度
公務員・土木職1名、造園業6名、土木建設業1
名、製造業7名、販売・サービス業2名
- ・平成26年度
公務員・土木職1名、土木建設・測量業3名、造園
業3名

〔進学〕

- ・平成24年度
神奈川大学、恵泉女学園大学、駒澤女子大学、松蔭
大学、大正大学、玉川大学、東京工芸大学、東京福
祉大学、東京農業大学、日本大学
ほか 専門学校9名
- ・平成25年度
松蔭大学、東京農業大学
ほか 短大4名、専門学校11名
- ・平成26年度
麻布大学、桜美林大学、関東学院大学、東海大学、
東京工芸大学、東京農業大学、東京福祉大学、日本
大学、明星大学、
ほか 短大3名、専門学校7名

5. 環境緑地科・環境土木科の資格取得

〔測量士補 国家試験合格者数〕

- 平成26年度 3名
- 平成27年度 3名

〔造園技能士2級 国家試験合格者数〕

- 平成25年度 13名
- 平成26年度 12名
- 平成27年度 1名

〔造園技能士3級 国家試験合格者数〕

- 平成25年度 27名
- 平成26年度 27名
- 平成27年度 16名

6. 環境緑地科・環境土木科生徒の諸活動

相模原市の要請により橋本駅前の街路整備や街区公園の設計など公共事業への支援も積極的に行っている。すでに市内数カ所の街区公園が生徒のアイデアで施工された。また、全国造園デザインコンクールでの入賞や国際バラとガーデニングショウでの入賞は生徒たちが授業で学んだデザインの基礎力が発揮された典型である。さらに日本学校農業クラブ全国大会では、農業鑑定競技会区分造園の部で2年連続最優秀賞を受賞するとともに平板測量競技会でも活躍している。



写真-4 国際バラとガーデニングショウ



写真-5 造園技能検定実技試験

7. 相原造園研究会

昭和53年、卒業生により「相原造園研究会」が組織され、造園に関する研究活動を定期的に行うとともに、資格取得教育を中心に在校生に対しても無償で指導していただいている。

8. おわりに

多くの卒業生が経営者、あるいは社員として造園業を営み、神奈川県内における造園界の中心的な役割を果たしている。

相原高等学校環境緑地科は、環境を重視する社会意識が高まる中、造園学を中心に農業土木学や園芸についても学習・実習を重ねることにより、地域の期待と信頼に応えられる技術者、よりよい環境を創造することができる技術者の養成に、これからも全力を尽くす所存である。

（神奈川県立相原高等学校 環境緑地科
教諭 間橋元治）